わっかない 市議会だより

WAKKANAI CITY

平成15年12月1日
第104号
●発行　稚内市議会
●編集　編集委員会
●電話　23－6161番(代表)内線281

(写真提供：門間喜一郎さん)

議会日誌

8月
4日　議会改革特別委員会
5日　第6回臨時会（本会議）・議会運営委員会・資格審査特別委員会・各派幹事長会議・各派代表者会議
6日　民生文教常任委員会
7日　北海道市議会議長会道北支部議長会議員研修会（旭川市）
20日　資格審査特別委員会
21日　総務常任委員会・議会運営委員会
28日　第7回臨時会（本会議）・議会運営委員会

9月
8日　議会改革特別委員会
10日　民生文教常任委員会
11日　建設産業常任委員会
17日　議会運営委員会
24日　第8回定例会（本会議）・議会運営委員会・決算特別委員会
29日　本会議（一般質問）・議会運営委員会・各派代表者会議
30日　本会議（一般質問）

10月
1日　議案特別委員会
2日　議案特別委員会・議会運営委員会
3日　本会議・決算特別委員会・議会運営委員会
6日　決算特別委員会・議会運営委員会
7日　決算特別委員会
8日　本会議・議会運営委員会・議会だより編集委員会
14日　総務常任委員会道外行政視察（18日まで）
20日　民生文教・建設産業常任委員会道外行政視察（24日まで）

常任委員会行政視察情報

総務常任委員会
・日　時　10月14日～18日
・視察先及び調査項目
①大分県臼杵市
○バランスシートについて
○市民参加型サービス評価システムについて
②神奈川県大和市
○E－コミュニティー構想について

民生文教常任委員会
・日　時　10月20日～24日
・視察先及び調査項目
①愛媛県今治市
○市民活動センターについて
②広島県因島市
○幼稚園・保育所合築施設について
③大阪府和泉市
○ファミリーサポートセンター※注1について

建設産業常任委員会
・日　時　10月20日～24日
・視察先及び調査項目
①兵庫県姫路市
○中心市街地活性化事業について
②山口県萩市
○浜崎地区街なみ環境整備について

※注についてはP6「用語解説コーナー」参照

…9月定例会 一般質問から…

9月29・30日に各会派から6人の議員の一般質問が行われました。主な質問と答弁を紹介します。

市民共生クラブ 長谷川喜市 議員

稚内市の財政計画について

質問 市長は4年前の選挙の法定ビラで「民間企業なら倒産寸前といわれても不思議ではない」「すぐ取り組まなければ稚内がだめになる」「財政の立て直し」「組織の見直し」「稚内の未来像の明確化」を市民に公約したが、1期4年を経過した14年度決算では基金残高61億8千7百万円、地方債残高が314億円と、基金は減少し地方債は増える結果になっている。当時、倒産寸前と言っていた稚内市は何とか再建団体にはなっていないが「財政の建て直し」の公約は守られたと思っているか。

答弁 本市は近年の経済の低迷により市税の落ち込みや国の財政構造改革による地方交付税の大幅削減により、財政収支にも大きな影響を与え、逼迫した財政運営を余儀なくされている。本年度も市税で6億円、地方交付税で20億円と、双方とも大幅な減額が見込まれている。財政の健全化はこれまでも積極的に取り組んできたが、現在、財政健全化プランを策定中である。安定した財政運営は行政の根本的な責務であり、明日の稚内形成に欠くことのできないものと認識しており、早急に財政の基盤強化を図っていきたい。

図書館について

質問 ①図書館の基本計画にあるサービス目標を確実にするため、司書有資格者の配置は必要だと思うが、配置状況は。②基本計画の市民1人当たりの貸出し冊数等は無理があるのでは。また、将来の目標年度とはいつのことなのか。③図書館の利用促進策をどう考えているか。

答弁 ①職員5名、臨時職員3名の計8名が有資格者として働いていて、道内の図書館と比較しても少なくないと考えている。②将来目標では、1人あたり8冊以上とあるが、これは10年をめどに設定した。これまでの利用状況から5～6年後には目標を達成できる状況だが、引き続き利用者サービスに努め、目標を高く設定できるよう、市民ニーズにあった図書整備を図っていきたい。

〔その他の質問項目〕
- 補助金について
- 地域省エネルギー導入可能性調査について
- ホッポージャーナル記事について
- 市立病院について
- 行刑施設誘致について

市民クラブ 中井淳之助 議員

大沼と宗谷ふれあい公園の活用について

質問 市長は今議会の一般行政報告で、宗谷ふれあい公園について、「冬の活用をあらためて考えていきたい。今年の冬はじっくり調査し、コテージも含め周年利用を検討する」と述べているが、①現状、ふれあい公園に隣接する大沼に簡単に往来できないが、両施設の関連付けが必要では。②冬期間の大沼とふれあい公園のアクセスをどう考えているか。③大沼バードハウスの利用実態をみても、春・秋の渡り鳥の時期は簡易施設の増設が必要では。④現在、ふれあい公園は振興公社、バードハウスは白鳥の会、スノーモービルは観光協会が維持管理しているが、一元化し効率のいい運営をすべきでは。

答弁 ①基本的には、白鳥と雄大な景観を誇る大沼と、様々な体験観光の可能性があるふれあい公園との連携は相乗効果を上げる意味でも必要不可欠と考えている。②冬期間の両地区のアクセスは、地盤や土地の形状など検討を要する問題があるが、自然環境への配慮も必要であり、まず現状のなかでのアクセスが可能か調査を行い、その後の対策を図っていきたい。③バードハウスの一時的な観光客増加時に対応するための施設増築や仮設設備の設置よりも、代替メニューを示せるように、春・秋の多様な観光資源の掘り起こしに努めていきたい。④観光振興に向かう関係団体の意識を一つにすることは大切なことと認識しているが、既存施設がそれぞれのゾーンにあって、総合的役割の一つとして欠かせない動きをする、そんなネットワークづくりに努めていきたいと考えている。

市が行なっている各種表彰について

質問 現状では、市三役や職員、議員等が稚内市功労者や功績者表彰の対象に含まれているが、一般の対象者のように金銭的にも精神的にもボランティアとして貢献してきた方とは明らかに違うことから、対象からはずす考えはないか。また、市として表彰するための根拠条例を一本化してはどうか。

答弁 市の表彰に関する根拠を一本化し、より分りやすい形にすることは必要であると考えている。また、表彰対象者の見直しも市職員の辞退により実施していない現状もあ

ることから、対象者の見直しやスポーツ賞・文化賞を含め、一本化に向けた検討を進めていく。

公明党
鈴木茂行議員

外国人船員の犯罪防止策について

質問 ①ロシア船員の犯罪増加の分析について。②夜間から早朝にかけて船員が上陸できない手段や監視カメラを設ける等の対応策をとるべきでは。③コルサコフ市の記念行事に行った際、犯罪防止を訴えてきたのか。④犯罪防止のための市民団体等による「勝手・パトロール隊」の組織づくりについて。

答弁 ①ロシア船の入港増加が要因の一つと認識している。今年の犯罪の実態としては、窃盗が14人、不法上陸などが6人、事務所・店舗荒らし・窃盗などの犯罪が多少増加している。②現在、対策として、荷役終了後に理由なく離岸しない船舶等には代理店を通じ、警察や海上保安部と協力しながら、担当職員が訪船し、警告やビラの配布などを行っている。一方、犯罪歴のある船員には、入国管理局による上陸拒否の措置を、航行に支障のある船舶には、北海道運輸局が改善命令の通告を行っている。また港湾管理者としても、長期係留する恐れがある船舶には、施設使用を拒否するなどの措置をとっている。今後は、改正ＳＯＬＡＳ条約に対応した港湾管理体制が必要になって準備を進めている。今後とも、各関係機関と連携しながら、犯罪防止に努めていきたい。③９月19日・20日には様々なイベントが行われ、申し入れをする場はなかった。今後はサハリン事務所を通じ、関係機関に実情を申し入れる状況と分析している。④「勝手・パトロール隊」の組織づくりについては、各種団体・機関等の協力が不可欠であり、現状では、安全上などで、大変難しいものと思う。

「保育ママ」事業の創設について

質問 低年齢児保育所待機解消策として、保育ママ※注2事業を実施してはどうか。

答弁 現在低年齢児を中心に40人程度の待機者がおり、解消方法の一つとして、私立幼稚園の保育所業務参入による、「幼保一元化」の推進を目指しているが、成果が得られるまでには相当の時間を要すると考える。「保育ママ事業」は、待機児童の動向からも、効果の高い事業と思われ、保育ニーズや有資格者の動向についての調査を行うとともに、情報提供も含め、研究を進めていく。

日本共産党
斉藤信義議員

市立病院問題について

質問 ①診療報酬改定による医業収益への影響について。②医療費自己負担の引き上げによる患者の減少について。③精神神経科を不採算部門として縮小するべきではないと考えるが。④こまどり病院のＰＲと長期入院患者に対するクリーニング等の取り扱いについて。

答弁 ①合計で２億５千969万８千円の減収で、4.3％の減である。②影響の大きい外来患者では、14年４月から８月までは12万１千548人、15年の同期では11万３千676人であり、７千872人の減、6.5％の減少である。すべてが負担の引き上げとは思えないが、影響はあると考えている。③在宅ケア体制は一定程度整備されているが、周辺他町村は全く整備されておらず、削減の影響が大きいと思われるので慎重に検討して行きたい。④広報紙で特集を掲載した他、地域ケア会議への参加、市内の在宅介護支援センター等との連携・強化を図っており、最近では在宅から入院する方も増えてきている。また、在宅者の中にも利用したい方も多いと聞いているので、希望に添えるよう対処したい。個人が業者に依頼することは可能であり、備え付けのコインランドリーの利用も周知して行きたい。

幼保一元化問題について

質問 ①幼稚園児と保育所児の保育体制の相違について。②３歳児未満と３歳児以上との施設の相違による問題点は。③幼保一元化施設の保育料について。④保育所の保育時間について。⑤市立保育所と幼稚園の給与の格差について。⑥市立保育所と幼稚園との保育内容の整合性、一貫性の進め方について。⑦子育て支援事業の拡充について。

答弁 ①認可保育所は、保育指針に沿って保育を実施する。②幼稚園の参入形態により変わると認識している。③認可保育所であり、保育料は市条例等により規定されている。④11時間保育を原則としており、その範囲で決定される。⑤市立保育所職員の給与は、市職員給与条例により支給、幼稚園職員は、それぞれの給与体系によるものと思う。⑥市立保育所が幼保一元化施設となることはないが、幼稚園とは今まで以上に連携して行きたい。⑦幼保一元化施設を地域の子育て支援センターとして位置付け、充実した保育・教育サービスを実施することが必要と考える。

政友会
渋谷正敏議員

稚内公園整備について

質問　①レストハウスとこどもの国跡地の利用策は。②音楽堂、野外ステージの今後の利用策は。③ロープウェイの存続と代替手段について。④防災上での公園道の確保について。⑤点在するブロンズ像の公園への集約について。⑥中心市街地の再生と公園との関連について。

答弁　①取壊し時期は未定だが利用を検討している団体もあることから推移を見守っている。公園の将来像は観光に特化した地域と自然とふれあう地域に整備していきたい。②現在は利用されていないが、利用促進のための整備と維持管理に務める。③乗客数の減少、老朽化が顕著であり、代替の輸送手段を含めて検討を進めている。④建設費用等を考えると難しい状況である。公園道の確保については、防災対策から今後も調査研究を進めていく。⑤各ブロンズ像の製作や建立位置等には意図があり、集約することは難しいと考えている。⑥中心市街地と公園整備は連動・連携が必要と考えている。また、開園期間内の道路周辺には、時期に応じた植栽等を行い、心和む公園としての管理に務めていく。

中心市街地の再生について

質問　①中央地区再開発計画の位置づけと計画策定の進行状況及び期間の前倒しについて。②南地区への大型店進出に対する感想と今後の対応について。③道の駅の採用と早期実現の検討について。

答弁　①稚内駅を中心に交通広場とバス待合機能を備えた複合交通ターミナルや緑地帯のある公共空間、観光情報を中心としたインフォメーション機能、またショッピングセンターやシネマコンプレックス(※注3)等のアミューズメントを複合した商業施設についても検討が進められており、来年度までには概要がまとまるものと考えている。基本計画に基づく国庫補助制度の活用を視野に入れ、最短のスケジュールで作業を進めている。②市街地の広がりと周辺環境の保全に配慮した土地利用の実現に努めなければならないと考えている。中央地区を「港とまち、公園を連携した都市軸づくり」の拠点と位置づけ、マリンタウンプロジェクトと中心市街地活性化事業の一層の推進により、自立した商店街と、個性を活かした魅力ある市街地形成を実現させたいと考えている。③一層の機能集約の観点から、稚内駅周辺の導入を優先して検討したいと考えている。

市民共同
田代茂議員

中央地区火災その後の復興について

質問　中央地区火災から1年3ヶ月が経過したが、①被災者の生活再建、営業再開の状況は。また、これまでの支援策と復興状況は。②都市再生に見た被災地復興計画の位置付けと具体的な復興プロセスの進め方は。③復興計画推進の組織づくりと行政支援は。④復興を推進するため中小企業総合振興資金災害貸付の延長要望や被災地区への出店誘導策、また、中心市街地活性化基本計画の進捗状況は。⑤出火原因の究明について。

答弁　①被災した店舗の状況は、15店舗が再開、3店舗が地区外で再開、6店舗が廃業、残り10店舗が今後の復興計画の動向を見守るという状況になっている。支援策は、住居等の相談、個別経営相談会等、融資制度による店舗再開と経営安定の支援を行ってきた。②昨年、専門家による火災復興勉強会を開催し、商店街競争力強化事業検討委員会を設置して計画策定を進めている。市としても駅前周辺の再開発と連携しながら復興支援を継続していく。③市としては、計画の状況を見ながら、策定中の中心市街地活性化事業や再開発事業を通じて、支援して行きたいと考えている。④災害貸付の受付期間は1年間延長されている。また、中心市街地活性化基本計画で中央地区全体の商業支援策を検討しており、早期に具体化を進めたいと考えている。今後は、基本計画のまとめを行い、来年度での国への提出を予定している。⑤原因は不明という結論となっている。

市発注の土木工事の指名委員会の格付別発注の適正化について

質問　①格付けと発注金額の関係で上位格付け業者に下位格付け工事が指名されていると思われるが、問題はないのか。②随意契約は130万以下であるべきだが、この額を超えた契約を締結しており規則に反するのでは。

答弁　①工事によっては自然的条件や周辺環境などから、より高い施工技術と管理技術を必要とするものがあるため、指名運営委員会において審議したうえで、上位格付ランクを選定する場合もありえる。②随意契約の工事は地方自治法及び同施行令に定められた範囲で、指名運営委員会で厳正に審議し契約を締結している。

…議案特別委員会から…

【補正予算】

◇一般会計

〈痴呆対応型施設設備費補助金〉

●備品購入の時期はいつか、またその際には入札で行うのか

〈精神障害者住居建設事業補助金〉

●当初の建設資金準備の状況は

●建設敷地は無償貸与なのか

●他の補助金交付の有無は、また地域の理解は得られているのか

〈海岸雑海藻運搬業務委託料〉

●今後、他の地域で必要性がでた場合も同じ措置をとるのか

●堆肥の分析結果にもよると思うが、宗谷丘陵に散布する考えは

〈沖合漁業経営強化対策補助金〉

●今回の補助で建て直しが可能か

●系列団体の支援や市の今後の別な支援があるのかどうか

〈除排雪業務委託料〉

●委託内容の変更による費用の増減は、仮に減額になった場合に作業が雑にならないか

●商工高校前の坂と信金本店横のロードヒーティング化の予定は

●末広ふ頭のストックヤード整備を早急にすべき

●幼保一元化に伴う保育士の将来的な配置の変化は

●臨時職員を徴収業務に配置することによる収納効果は

…決算特別委員会から…

◇一般会計

●消費生活相談制度を積極的にPRすべき、また内容の主なものは何か

〈FMわっかない放送料〉

●聴取は全地域で可能なのか

●委託料は妥当な額か、わかりやすく他地域の民間放送との比較を

●放送履行の確認は録音テープでもすべきでは

●町内会館改修と地域コミュニティ配置との関係の説明を

●入浴支援事業は浴場組合が対象となっているが、南地区にはなく、地域差やその実態は

●温泉童夢の露天風呂を高齢者や身障者に対応できるように改善を

●海員会館にエレベータ設置の検討を、さらにテナントの充実を

●サハリン事務所の開設や、地下資源プロジェクトに関する成果は

●サハリン事務所を民間と共同使用する体制は考えられないか

●冬期に工事を発注することが適当か、結果や履行確認が充分にできるのか

●今後は児童館で4年生以上の高学年を受け入れするのか

●水族館を学習利用する際、科学館同様に無料にできないか

●不登校対策のカウンセラー配置の状況や相談の内容は、さらに不登校生徒は減少しているのかどうか

●文化センターでの喫茶・食堂の営業希望者への措置や対応は

●自然の家山側キャンプ場にある屋外トイレの改善を

●文化振興事業予算を複数年で積み上げ、大きな事業ができるような対応ができないか

●最北野焼きの今後の取り組みは

●財政健全化プラン策定の進捗状況と考え方は

◇下水道事業会計

●凍上によるマンホール修繕の一昨年との比較や、今冬の見通しは

◇介護保険事業会計

●保険料未納者が該当年齢に達した際にサービスを受けれるのか

◇病院事業会計

●5ヵ年計画策定メンバーに行政からも具体的な目標や指針を与えるべきと考えるがどうか

●収入増加を図るため、患者の他都市流失を留めたり、収益を見込める循環器内科などの充実、さらに入院患者を増やすなどの考えは

●外来待ち時間の短縮化の考えは、さらに院外でも受診時間が分かるようなシステムの検討は

●ご意見箱で指摘を受けた後の改善策や結果を知らせる場はどこで

…採択された請願及び要望意見書…

▽準生活交通路線に係る暫定措置の恒久的な制度化についての要望及び要望意見書

▽WTO交渉に関する要請

▽犯罪防止のための治安対策の強化を求める要望意見書

▽携帯電話の利便性の向上と料金引き下げを求める要望意見書

▽季節労働者冬期援護制度に関する要望意見書

▽北海道新幹線の建設促進を求める要望意見書

▽高額療養費の返還（償還）制度の改善を求める要望意見書

▽道路整備に関する要望意見書

条例の検索ができます！

稚内市のホームページ上から各条例が検索できます。

稚内市のホームから「稚内市例規集」をクリックすると、「目次検索」「五十音検索」が出ますので、用途にあった条例検索が可能になっています。

稚内市にはたくさんの条例がありますので、ぜひご活用ください。

本会議と各委員会の出欠状況

区分／議員名	出席すべき日数	出席日数	欠席日数	区分／議員名	出席すべき日数	出席日数	欠席日数
岡本　雄輔	29	29	0	魚住　　彰	16	16	0
上出　悦照	15	15	0	生田目幸男	14	13	1(私)
河合　武久	16	16	0	長谷川喜市	15	15	0
河野　至緒	19	19	0	本田　　満	16	16	0
渋谷　正敏	16	16	0	松本　勝利	28	27	1(私)
田渕　良一	14	14	0	鈴木　茂行	27	27	0
田森　和文	24	23	1(私)	鈴木　雅熙	14	14	0
小川　文三	18	17	1(公)	館農　恒一	16	16	0
菅原　　貴	15	15	0	斉藤　信義	26	26	0
中井淳之助	16	16	0	佐藤　幸子	17	17	0
藤谷　良幸	27	27	0	田代　　茂	28	27	1(私)
山田　繁春	26	19	7(私)	三宮　正人	26	25	1(私)

注：(1)出席すべき日数は、８月１日から10月31日までの状況。
(2)欠席日数欄中(公)は公用、(私)は私用、(病)は病気の意味。

12月定例会日程

12月5日
○本会議
・一般行政報告
・予算・条例・単行議案の上程
6日～9日
○休会
10日～11日
○本会議
・一般質問
12日・15日
○議案特別委員会
16日
○本会議

本会議は5階議場で、議案特別委員会は5階正庁で開きます。

各会派行政視察情報

○公明党が先進都市へ視察に赴きました。
・時　期　9月3日～6日
・視察地　新潟県加茂市
　佐渡広域市町村圏組合
・調査事項
・高度な福祉行政について
・商店街近代化について
・メルティングセンター佐渡について
○政友会が先進都市へ視察に赴きました。
・時　期　9月1日～5日
・視察地　大分県大分市
　〃　別府市
　愛媛県松山市
・調査事項
・ファミリーサポートセンターについて
・管理職応募制及び降任制度について
・観光振興について
・議会運営について
○市民共生クラブが先進都市へ視察に赴きました。
・時　期　9月3日～6日
・視察地　滋賀県立図書館
　兵庫県神戸市
　第三セクター㈱黒壁
・調査事項
・滋賀県立図書館の視察について
・神戸市営住宅「ＨＡＴ神戸灘の浜」の視察について

用語解説コーナー

(注1) ファミリーサポートセンター
育児の援助を受けたい人と行いたい人が会員となり、働く人々の仕事と子育ての両立を支援する組織であり、現在では子を持つ全ての家庭に広がっている。このセンターの設立・運営は市町村が行なうことになっている。

(注2) 保育ママ事業
保育所への入所待機者や共働きの夫婦をサポートするため、保育士の資格をもった人が自宅でこどもを預かる事業。

(注3) シネマコンプレックス
一つの建物の中に複数のスクリーンを持つ複合型映画館のこと。現在ではアミューズメント施設やショッピングセンターなどを併せ持つケースも多く、今まで映画館に足を運ばなかった人の集客に成功している。

写真募集（２月号）

議会だよりの表紙に自分の撮った写真を載せてみませんか。
市民のみなさんから写真を募集いたします。載せたい写真を12月12日までに下記宛に送付又は持参して下さい。（紙面の構図上、写真はできるだけ横構図のものをお願いします）
なお、写真については、後日お返しいたします。
※送付の場合には必ず返送用の住所・氏名・電話番号を記入の上送付してください。

〒097-8686 稚内市中央3丁目13番15号
稚内市役所　議会事務局

編集後記

本市では、『市民生活の安定』と『豊かさが実感できる町づくり』の進展の為、数々の施策に取り組んでいる中で、財政状況は悪化の一途を辿っております。しかしながら目まぐるしく変わる社会情勢の変化や市民の皆様の多種多様なニーズに的確に応えていくうえで、執行機関への厳しいチェックは当然としても、議会が市民との連携を深め、市民の参加を得て政策提起など独自性を発揮し『市民の為の議会』としての機能を前進させるべく9月稚内市議会定例会では、本議会で横田市長に対する一般行政、市政について各会派一般質問がおこなわれました。又、市民の皆様に新たな決意や新鮮な感性でまず、議会改革の試み、開かれた議会として関心をもっていただく努力、工夫をしているところであります。
市民の皆様には市議会（12月）の傍聴をお勧めいたします。今後の市政の方針や政策の内容、その実施状況が明らかになり、身近な問題を議会で取り上げている様子を実際にご覧いただける絶好の機会です。是非一度、傍聴に来てみませんか。（議会だより編集委員会）